

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年6月20日
【会社名】	株式会社ゼンリン
【英訳名】	ZENRIN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 高山善司
【本店の所在の場所】	福岡県北九州市小倉北区室町一丁目1番1号
【電話番号】	093(882)9052
【事務連絡者氏名】	経理部長 藤本泰生
【最寄りの連絡場所】	福岡県北九州市戸畑区中原新町3番1号
【電話番号】	093(882)9052
【事務連絡者氏名】	経理部長 藤本泰生
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 証券会員制法人福岡証券取引所 (福岡市中央区天神二丁目14番2号)

1【提出理由】

平成28年6月17日開催の当社第56回定時株主総会において、決議事項が決議されましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第9号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該株主総会が開催された年月日

平成28年6月17日

(2) 当該決議事項の内容

第1号議案 剰余金の処分の件

期末配当に関する事項

当社普通株式1株につき金17円とするものであります。

第2号議案 定款一部変更の件

監査等委員会設置会社への移行に関する変更を行うものであります。

責任限定契約の締結可能範囲を拡大するための変更を行うものであります。

剰余金の配当等を取締役会決議により行うことを可能とする変更を行うものであります。

当社の事業領域の多様化に対応した事業目的とするための変更を行うものであります。

その他上記の各変更及び削除に伴う条数等の変更を行うものであります。

第3号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）7名選任の件

取締役（監査等委員である取締役を除く。）として、大迫正男、高山善司、網田純也、柏木順、大迫益男、清水辰彦、塩次喜代明の7名を選任するものであります。

第4号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

監査等委員である取締役として、稲葉和彦、辻孝浩、磯田直也の3名を選任するものであります。

第5号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

補欠の監査等委員である取締役として、塩次喜代明を選任するものであります。

第6号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬額決定の件

取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬額を、年額500百万円以内とするものであります。

第7号議案 監査等委員である取締役の報酬額決定の件

監査等委員である取締役の報酬額を、年額200百万円以内とするものであります。

第8号議案 取締役に対する株式報酬制度の導入の件

(3) 当該決議事項に対する賛成、反対及び棄権の意思の表示に係る議決権の数、当該決議事項が可決されるための要件並びに当該決議の結果

決議事項	賛成（個）	反対（個）	棄権（個）	決議の結果	
				賛成比率	可否
第1号議案	308,651	334	0	96.5%	可決
第2号議案	300,714	8,271	0	94.0%	可決
第3号議案					
大迫 正男	281,297	27,687	0	87.9%	可決
高山 善司	282,374	26,610	0	88.2%	可決
網田 純也	305,550	3,435	0	95.5%	可決
柏木 順	305,574	3,411	0	95.5%	可決
大迫 益男	305,518	3,467	0	95.5%	可決
清水 辰彦	305,613	3,372	0	95.5%	可決
塩次 喜代明	306,083	2,902	0	95.7%	可決

決議事項	賛成(個)	反対(個)	棄権(個)	決議の結果	
				賛成比率	可否
第4号議案					
稲葉 和彦	303,768	5,216	0	94.9%	可決
辻 孝浩	273,792	35,193	0	85.6%	可決
磯田 直也	306,456	2,529	0	95.8%	可決
第5号議案	308,539	446	0	96.4%	可決
第6号議案	308,524	400	61	96.4%	可決
第7号議案	308,525	399	61	96.4%	可決
第8号議案	283,150	25,835	0	88.5%	可決

(注) 1 各決議事項が可決されるための要件は、次のとおりであります。

第1号議案、第6号議案、第7号議案及び第8号議案は、出席した議決権を行使することができる株主の議決権の過半数の賛成であります。

第2号議案は、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主の出席及び出席した当該株主の議決権の3分の2以上の賛成であります。

第3号議案、第4号議案及び第5号議案は、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主の出席及び出席した当該株主の議決権の過半数の賛成であります。

2 当該株主総会において行使することができる議決権の総数は、365,905個であります。

3 賛成比率につきましては、当該株主総会前日までに行使された議決権の数及び当日出席株主の議決権の数の合計を分母とし、当該株主総会前日までに行使された議決権の数及び当日出席の一部の株主から各議案の賛否に関して確認できた議決権の数の合計を分子として算定しております。

(4) 議決権の数に株主総会に出席した株主の議決権の数の一部を加算しなかった理由

当該株主総会前日までに行使された議決権の数及び当日出席の一部の株主から各議案の賛否に関して確認できた議決権の数を集計することにより、各決議事項が可決されるための要件を満たしております。

なお、会社法に則って決議が成立したため、当該株主総会当日出席の株主うち、賛成、反対及び棄権の確認ができていない一部の議決権の数につきましては、加算しておりません。

以上